



ニュー スキン ジャパンからの支援金により 食料援助プログラムを拡充

2006年12月20日 東京 - セカンドハーベスト ジャパン(東京都台東区、理事長:チャールズ・マクジルトン、以下「セカンドハーベスト」)は、ニュー スキン ジャパン 株式会社(東京都新宿区、代表取締役社長:ロバート S. コンリー、以下「ニュー スキン ジャパン」)の「Force for Good(フォース フォー グッド)基金」より、毎月150万円(年間1,800万円)の支援金を受領することとなりましたのでお知らせします。セカンドハーベストは、この支援金を活用することにより、当団体が日本国内で食の支援を必要とする人々を対象に実施している、食料援助プログラムを拡充し、活動をさらに活発化させていく予定です。

セカンドハーベストでは、品質に問題が無いにも関わらず、包装の不備、誤発注、販売期限切れといった理由から不要となり、廃棄せざるを得なくなった食料を、食品関連企業から回収、保管し、児童養護施設、女性シェルター、高齢者介護施設、低所得者世帯といった食の支援が必要な人々に配布する活動を行っています。2005年には、合計約175トン(1億500万円相当)の食料を、関東、関西を中心とした各地の慈善団体や個人を対象に配布を行った実績があります。今回の支援金の受領を受け、セカンドハーベストは、寄贈された食料を保管する倉庫スペースの拡張や、生活困窮者を対象に宅配サービスを使って緊急時の食料を送付するフードパントリープログラムを拡大していく予定です。

ニュー スキン ジャパンの代表取締役社長 ロバート S. コンリーは、セカンドハーベストの活動支援について、次のようにコメントしています。「ニュー スキン ジャパンでは、社会貢献活動の一環として、より良い社会の実現に向けて日本国内で活動しているさまざまな団体・プロジェクトを支援しています。セカンドハーベストは、恵まれない人々への食料の提供という人道的援助のみならず、寄付されなければ廃棄されていたかもしれない食料を、再分配するという意義のある活動を行っています。ニュー スキン ジャパンは、ディストリビューターと共に、セカンドハーベストへの財政的な支援、さらにボランティアとしての活動にも参加し、このプログラムを積極的にサポートしていきます。日々の食事に困る人のいない社会の実現に向けて、お互い力を合わせていきましょう」。

また、ニュー スキン ジャパンからの支援金の受領にあたり、セカンドハーベスト理事長のチャールズ・マクジルトンは、次のように述べています。「セカンドハーベストの活動をご理解いただき、ニュー スキン ジャパンからの継続的なご支援をいただけることに心から感謝しております。日本国内で多くの人々が毎日の食事に事欠く生活を送る一方、大量の食品が品質や安全性にまったく問題が無いにも関わらず、廃棄されているという現実があります。セカンドハーベストは、今回の支援金を有効に活用し、支援を必要とするより多くの人々のニーズに応えられるよう、必要となる組織基盤やリソースの整備、食料援助プログラムのさらなる充実を行ってまいります」。

<本件に関する問い合わせ先>
ギャビン・アンダーソン&カンパニー
担当:大倉、梅原
Tel. 03-5404-0640 (代表)

ニュー スキン ジャパンについて

ニュー スキン は 1984 年に米国ユタ州で創業しました。
1996 年には、ニューヨーク証券取引所に上場し、現在、世界 44 のマーケット(2006 年 9 月現在)でビジネスを展開しています。
日本では 1993 年に開業。パーソナルケア製品の「ニュー スキン」、栄養補助食品の「ファーマネックス」を中心にビジネスを発展させています。

ニュー スキンでは、ネットワーク マーケティングという販売方法により、ディストリビューターと呼ばれるニュー スキンと契約した個人を通じて、製品を消費者へダイレクトに流通させています。質の高い製品を自ら使い、その良さを人へ伝えるというコミュニケーションを基盤としたこの販売システムにより、新しいライフスタイルの実現を願う起業家精神に満ちた多くの人々へ、ビジネスチャンスを提供しています。

URL: www.jp.nuskin.com

セカンドハーベストについて

セカンドハーベストは、食のリサイクルを目指す「フードバンキング」という手法によって、安全性に問題がないにもかかわらず、不要になって廃棄される食料を回収・保管し、全国の恵まれない人々に再配布する活動を行っている非営利団体です。セカンドハーベストの活動は、廃棄される食料を減らし、食を通じて恵まれない人々を支援することを目指しています。

セカンドハーベストでは、2005 年度には、合計約 175 トン（約 1 億 5 百万円相当）の食料を回収、配布した実績があります。また、活動を開始した 2002 年度から通算すると、東北、関東、中越、関西、九州地区の 100 を超える慈善団体を通じて、食料援助を行いました。

セカンドハーベストは、すべての食料が安全に回収、保管され、適切な方法で調理し、消費されるよう食品の安全性の確保に努めています。詳しい活動内容につきましては、ホームページ www.2hj.org をご参照ください。